

「いざというとき」に備える

～教職員の救命救急講習・エピペン講習～

春休み期間を利用して、教職員の救命救急講習やアレルギー対応の研修を行いました。
毎年、研修を行うことで、救命救急への意識を高めています。



心肺停止状態の人を発見したという想定で

- ・心臓マッサージの仕方
AED を取りに行く人、
救急車を呼ぶ人への指示の仕方
- ・心臓マッサージを行いながら、AED を装着する方法などを全員が練習しました。

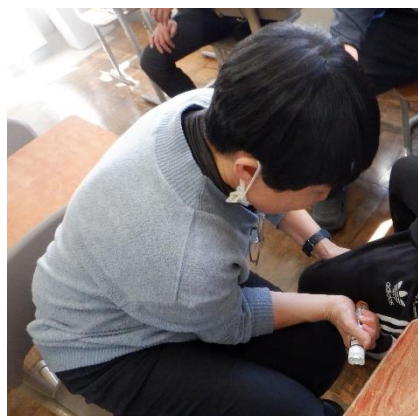
まずは、今日の指導者が見本を見せます。



ポイントを確認しながら、全員が全ての役を体験しました。



アレルギー対応についても、実際にアナフィラキシーショックが起こったという想定で、一人一人がどのような動きをとればよいかを考え、練習しました。アナフィラキシーショックを起こしたことに気付いた担任の役、先生を呼びに行く生徒の役、職員室に電話をする役、消防署に電話をする役など、場面を想定して、動いてみました。



いざという日が来ないことを祈りながらも、いつ、どんなことが起きても最善の対応ができるように、日ごろから備えています。今年度は、夏休みにも4時間の研修を行う予定です。